

平成30年度 なでしこりんくう事業報告書

1 職員のスキル可視化と人材育成

◆登録喀痰吸引等事業者（登録特定行為事業者）登録

平成30年6月1日から実施、介護職員による喀痰吸引が可能な職員を新たに5名育成しております。

◆キャリアラダーの作成と実施

看護部門として平成30年4月1日から実施しております。

◆各事業で年間研修課題を設定

年間研修計画の策定と実施、研修は主に事業毎の運営委員会にて実施しました。特に訪問介護と居宅介護支援事業においては、個別計画に基づく研修、他事業所との合同研修を実施しました。

2 法令遵守と各事業の健全性確保

◆各事業所の月次報告

事業計画に基づき、明確なゴールを定め、進捗確認を毎月実施、半期に1度の総括を行いました。

◆法令遵守に関する研修

平成30年4月2日 新入職員研修を実施

平成30年4月13・23・27日、5月10・24日 法令遵守と事業計画研修を実施

平成30年6月21日、コンプライアンス研修を実施

平成30年6月28日、泉南警察署による安全運転講習を実施

◆会計処理に関する内部統制

平成30年11月13・14日、監査法人トーマツによる法定監査

平成30年5月2日・12月7日、大阪府済生会監事による内部監査を実施

年1回、事業毎に自主点検表の作成を実施

平成30年5月・11月、済生会業務監査チェックリスト作成

平成31年3月30日、現有備品の棚卸、システムアカウントの棚卸を実施しました。

◆サービス内容の向上

平成30年11月29、30日に受審した福祉サービス第三者評価において、A～Cの評価段階において全68項目中67項目のA評価を取得し、他施設では例の無い高評価を得ました。

些細な事例でも苦情・要望があった場合の委員会報告を徹底し、平成30年度53件について、終結するまで毎月確認しました。

3 地域貢献事業の充実

◆ネグレクト被害児童に対する支援

泉南市保育子育て支援課と協働し、食事提供と学習会を開催、延べ29名の利用がありました。

◆生活困窮者の経済的支援

社会福祉協議会と連携し、相談に来所された3名に対して施設独自の支援を行いました。

◆泉南市ドリームロード清掃事業

月に一度、全職員により当施設周辺の市道における草刈、清掃活動を行いました。

4 事業の透明性の確保

事業計画と事業報告の広報を行いました。また、当施設ホームページの刷新を行い、より見やすく施設内の日常の紹介が可能になりました。

5 災害対策の充実

◆地震津波防災訓練の実施

平成30年11月17日（土）に実施、なでしこりんくう家族会10名、デイご利用者3名、小規模ご利用者3名、小規模ご家族1名、なでしこりんくう職員33名、泉南医療福祉センター職員2名、合計52名の参加がありました。

◆防災規定の改定

家族会役員の皆様にもご指導頂き、新たに夜間想定 of 防災訓練実施要領及び家族会合同防災訓練実施計画を作成、津波到達時間を考慮した訓練に臨みました。

6 リスクマネジメントの強化

◆感染・事故・拘束・苦情・虐待防止の徹底

毎月各委員会を開催し、課題の解決を行いました。インフルエンザ流行期には面会の皆様のご協力、有難うございました。

◆環境パトロールの実施と改善活動

毎月5名の職員が各フロアを巡回、点検実施し、問題のある部分の改善や修理を行いました。

◆ご利用者の急変対応に伴う指針の作成

平成30年8月1日より、配置医師による緊急時対応マニュアルを改訂しました。

◆防犯体制の規程整備

平成30年9月1日より施設安全管理規程・防犯マニュアルを整備しました。ご面会の皆様におかれましては、入館時の記入とストラップ携行がお手間かと思いますが、ご協力のほどお願いいたします。

7 利用者負担と要援助者を考慮した事業運営

◆通所介護において、1時間単位にサービス提供時間を細分化して、送迎車両を増便し、できる限りご希望に沿えるような対応を行いました。

◆障害福祉サービスにおいて、生活介護と短期入所の併用が可能な体制を整えました。

◆利用者負担軽減制度の活用（特養・短期入所・小規模）を行い、253万円の負担軽減措置を行いました。